

## 富山県美術館開館記念展 Part 2

# 素材と対話するアートとデザイン

## Art and Design, dialogue with materials

主催：富山県美術館、北日本新聞社、北日本放送

アーティストは創作の過程において、目指す表現や技術を発揮できるよう素材を選んできました。また、デザインのプロセスにおいても素材の選択は重要な要素であり、素材の選択には耐久性、適応性、コストが問われ、素材と加工技術の組み合わせで新しい価値が生まれます。モノを創作することにおいて素材と向き合い対話することは不可欠なものです。

本展では、木や金属から新素材まで、素材とその変容をテーマとした4つのセクションを通して、素材の魅力と素材に触発されて生まれるアートとデザインを紹介します。アルミ、木材、ガラスなど素材の魅力を生かした建築である、この富山県美術館で、素材との対話を通じたアートとデザインとの出会いを創出します。

併設開催：国際北陸工芸サミット「ワールド工芸100選」展（主催：富山県）

### I アート×素材

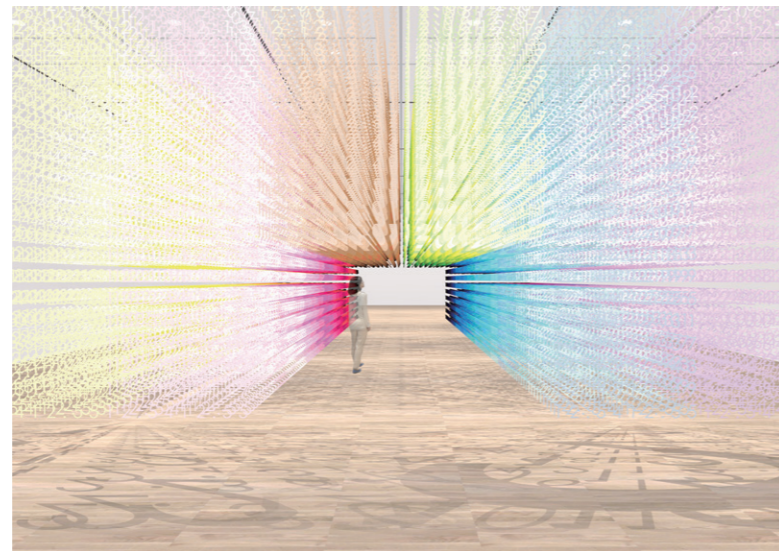
素材の世界観を来場者が体感できるインスタレーションを展示するとともに、素材の声を聞く現代美術家やデザイナーによる作品を通して、多様な素材の持つ魅力を伝えます。

- 1) emmanuelle moureaux (エマニュエル・ムロー) <<COLOR OF TIME>> (2017年 本展のための新作) ※画像はイメージです。
- 2) 倉俣史朗 <<ミス・ブランチ>> 1988年 (製造:1994年頃) / 当館蔵 © クラマタデザイン事務所

### II 革新×素材

素材別に7つの領域を設け、素材の進化と相まった革新的な素材による作品を紹介し、素材を通じた社会への提案を見つめます。

- 3) WooJai Lee (イ ウジェ) <<ペーパーブリックス・コーヒーテーブル>> 2016年
- 4) Axel Hildenbrand (アクセル・ヒルデンブランド) <<HORATIO>> 2016年 アポロ製作所 / Photo: Axel Hildenbrand
- 5) 坂下 和長 <<shallows>> 2013年 Photo: Taishi Fujimori / calm photo
- 6) ピニンファリーナ社とナブキン社の共同デザイン <<ナブキン フォーエバー ピニンファリーナ エアロ>> 2016年



1



2



3



4



5



6

### III 素材のきほん

来場者が、身近な素材そのものを知り、そして新たな一面に出会うコーナーを設けます。

- 7) 日本電気株式会社IoTデバイス研究所、下出祐太郎 (下出時絵司所) <<漆ブラック・バイオプラスチック>> 2016年
- 8) ニーナ・ファーベルト <<フォメス・フォメンタリウス・キノコ菌の新たな展望>> 2016年 Photo: ニーナ・ファーベルト



7



8

### IV インスタレーション ～アートとデザインをつなぐ

四組のデザイナーによる素材の可能性を追った作品を展示します。

- 9) TAKT PROJECT <<COMPOSITION>> 2015年 Photo: 林 雅之
- 10) we+ <<Drift>> 2016年



9



10

※関連イベントについては、富山県美術館ホームページにて随時お知らせします。



INTERNATIONAL  
HOKURIKU KOGEI  
SUMMIT artisan crafts

## 国際北陸工芸サミット

THIS IS 工芸

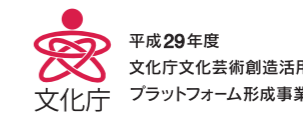
— 伝える。創る。—

THIS IS KOGEI / TRADITION & INNOVATION

「国際北陸工芸サミット」は、工芸の現状を捉えなおし、その未来を見据えることを目指しながら、国際的なアワードやシンポジウム、展覧会および多彩な関連催事を富山県内各地で開催するものです。

世界に誇る日本文化を広く国内外に発信すると同時に、北陸に「工芸分野の先進的文化芸術創造拠点」を形成することを大きな目的としています。

主催：富山県



平成29年度  
文化庁文化芸術創造活用  
プラットフォーム形成事業



## 国際北陸工芸サミット「ワールド工芸100選」展

国際北陸工芸サミット「U-50 国際北陸工芸アワード」における優秀な作品と、選考委員がキュレーションした作品を通して、世界の工芸の伝統とイノベーションをテーマに、世界各地の工芸の動向を紹介します。

会期：2017年11月16日(木)ー2018年1月8日(月・祝)

会場：富山県美術館 2F 展示室2

\*休館日：水曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(11/24、12/24は臨時開館)、年末年始(12/29ー1/3) \*観覧料：富山県美術館開館記念展 Part 2 「素材と対話するアートとデザイン」と共通観覧券/一般 1,300円(1,000円)/大学生 950円(750円)/一般前売り 1,000円 ( )内は20名以上の団体料金 \*ファイナリスト作品展・・・会場：高岡市美術館 / 会期：2017年11月25日ー11月30日(休館日：月曜日) / 入場無料 \*会期終了後一部の作品などについては、県内各地を巡回予定。○高岡文化ホール：2018年1月20、21日 / ○富山県民会館：2018年1月27、28日 / ○新川文化ホール：2018年2月3、4日 \*参加作家などに関する詳細は、<https://kogeisummit.jp/> で発表します。

## 「国際北陸工芸サミット」シンポジウム

世界からみた日本、北陸(富山)の工芸の今後の進むべき道、工芸の未来の展望を描くシンポジウムを開催します。

富山開催

\*日時：11月18日(土) 14:30ー17:30(予定) \*会場：富山県美術館ホワイエ  
\*内容：○基調講演：ルパート・フォクナー(英国ヴィクトリア&アルバートミュージアム日本美術担当上席学芸員) / ○ディスカッション：青柳正規(東京大学名誉教授)、ルパート・フォクナー、畠山耕治(金属作家、金沢美術工芸大学教授)、林千晶(ロフトワーク共同創業者) モデレーター：川上典季子(ジャーナリスト、21\_21DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター) \*定員：150名(事前申込：10月20日必着)

高岡開催

\*日時：11月23日(木・祝) 14:00ー17:30(予定) \*会場：ウイング・ウイング 高岡4Fホール \*内容：○U-50 国際北陸工芸アワード講評会：アワード選考委員11名 / ○ディスカッション：石井隆一富山県知事、青柳正規アワード選考委員長、中田英寿アワード選考委員 モデレーター：桐山登士樹(国際北陸工芸サミットディレクター) \*定員：400名(事前申込：10月20日必着)

※詳しくは、国際北陸工芸サミット公式HP(<https://kogeisummit.jp/>)でご確認ください。 問い合わせ先：info@kogeisummit.jp 最新ニュースは公式facebookページで随時発表しています。@kogeisummit